

伊都中央高等学校

実施日時	令和3年9月22日（水）夜間コース、9月24日（木）昼間コース
参加者	生徒123名、教職員27名、計150名
実施内容	防災DVD視聴・きいちゃんの災害避難ゲーム・非常食（持ち帰り）

ねらい

近い将来予想される南海トラフ大地震を始め、自然災害に備えて高校生の防災意識を高め、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年の育成を目的とする

主なプログラム

- 1 「今から1分後もし大災害が起こったら？」【視聴】
- 2 きいちゃんの災害避難ゲーム～みんなで協力して避難所運営をしよう！～【体験】
- 3 非常食（アルファ化米・個包装）の紹介・持ち帰り（自宅で試食）

概要

- 1 夜間コース（22日）昼間コース（24日）に分かれて実施した
- 2 映像視聴は体育館にて実施し、きいちゃんの災害避難ゲーム・非常食紹介は各HR教室にて実施した

参加者感想文

- 1 「今から1分後もし大災害が起こったら？」を視聴して
 - ・ 地震が起きたときの対処法が分かったので、もしも地震が起きたら冷静に対処したい
 - ・ 正しいと思っていたことが、間違っていることも多かったので、正しい知識をもつことは大切だと思った
 - ・ 地震が起きたときの安全な場所を改めて確認することができた
 - ・ 災害の知識をもつことで、いざという時に素早く行動ができると思った
 - ・ 新しい情報を得ることができた
- 2 きいちゃんの災害避難ゲームを体験して
 - ・ 避難所を運営するのは大変だと思ったが、もっと勉強したいと思った
 - ・ いろんな人への配慮が必要ということが分かった
 - ・ 楽しみながら防災の知識を得ることができた
 - ・ 実際に災害が起きたら、自分ができることは率先してやろうと思った

3 今後どのような防災の備えをしようと思ったか

- ・ まず家族と避難場所について話し合おうと思った
- ・ タンスの固定や、防災グッズを準備しようと思う
- ・ 食べ物の備蓄をしようと思う
- ・ ハザードマップを確認しようと思う

成果と課題

【成果】

クイズ形式の防災映像を、自分に置きかえて考えながら、知識を身につけることができた。

きいちゃんの災害避難ゲームをグループで取り組むことで、コミュニケーション能力を養い、自分と違う意見を尊重する態度を身につけることができた。

【課題】

ー昨年は自衛隊の協力を頂いて土嚢積みやロープワーク、地震体験車などの体験的なプログラムができたが、今年度も感染予防対策のために、外部への依頼ができなかったため、来年度は体験的な学びを取り入れたい。

